

**平成24年度 事務事業評価シート**

<b>事業の概要</b>	事務事業名	母子保健健康診査事業						担当部	健康福祉部			
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	保健センター				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	母子保健係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		10 健康づくり		3 親子が共に育み合うことができるように支援する					
		副目的	11-4		14-4							
	予算区分	款	4	項	1	目	4	大	3	中	6	
	根拠法令・個別計画	母子保健法										
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	15 %		委託	82 %		助成	3 %			
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	健やかに成長できるよう、親が子どもの成長について理解し不安なく楽しく子育てができるようにする。										
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容 公費負担の妊婦健康診査14回、乳児健康診査2回を医療機関委託にて実施。 乳幼児健診(4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診)、事後検診、2歳3か月児歯科健診、母親歯科健診を実施。 また、育児相談、健康教育も実施した。 上記の事業を実施しながら、子どもの健康状態、成長発達、育児状況を確認し、親が安心して子育てできるよう、寄り添いながら支援した。</p> <p>【直接経費の内訳】            備人料等(6,879千円)            消耗品・印刷製本費等(2,890千円)            委託料(148,563千円)            補助金(5,667千円)</p> <p>○24年度実施内容 23年度と同様に実施する。</p>										
受益者負担	無											

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
<b>コスト</b>	費用	直接経費	千円	132,988	164,158	163,999	191,441	
		正職員	従事者数	人	3.70	2.68	3.00	3.00
			人件費	千円	19,680	14,254	15,957	15,957
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.83	1.00	1.00
			人件費	千円	0	2,084	1,856	1,856
		費用合計		千円	152,668	180,496	181,812	209,254
	対前年比		%		118.2	100.7	115.0	
財源	一般財源	千円	127,884	147,012	146,707	174,254		
	国・県支出金	千円	24,784	33,484	35,105	35,000		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	乳幼児健康診査実施回数	回	目標		120	120	120
実績				120	120	120	
乳幼児健診時健康教育	回	目標		144	144	144	144
		実績		144	144	144	
事後検診実施回数	回	目標		18	18	18	18
		実績		18	18	18	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	乳幼児健康診査受診率	%	目標		100	95	95
実績				95	95	95	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	子どもの健康状態や成長発達を確認したり育児支援をする乳幼児健診や事後健診を目標どおり開催することができた。また、乳幼児健診の受診率も95%と目標を達成できた。				
		事業実施における課題等	受診率は今年度の目標を達成できているが、今後は100%により近づけるよう健診の周知に力を入れる必要がある。健診に来てよかった、また相談したいと思える保健センターであり続けられるよう、健診そのものの流れや健診に数多く入るスタッフの意識統一を常に図っていく必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	乳幼児健診事業を廃止することにより、子どもの健康状態や成長発達を確認したり育児支援を継続的にする機関がなくなり、疾病や成長発達について発見が遅れたり、適切な時期に育児支援をすることができなくなる恐れがある。				
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持					
	判定理由	健診等を目標どおり達成することができ、一定の成果を挙げており、現状の成果を維持したまま、今後も子どもの健康状態や成長発達を確認したり育児支援を継続していく必要があるため。					
	改善案等	今後も受診勧奨に勤めると共に、育児支援に力を入れていく。健診に来てよかった、また相談したいと思える保健センターであり続けられるよう、健診時間やスタッフの対応等常に全体を見渡して改善に結び付けられるように、健診そのものの流れや健診に入るスタッフの意識統一を常に図ることを目的に健診後のカンファレンスにおいて、毎回積極的に意見交換していけるようスタッフに周知する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	現状維持	一次評価のとおり。				